

ごあいさつ

本校のホームページをご覧くださいましてありがとうございます。本校は、昭和38年に旧和歌山工業高等学校東校舎の一部を仮校舎として、全日制普通科10学級（550名）で開校し、昭和39年には、紀ノ川の北岸の地に移転するとともに全国で二番目の保健体育科（1学級）が設置されました。以来、本年度で56年目を迎える学校であります。この間、平成24年には保健体育科がスポーツ健康科学科に変更され、また、県立和歌山西高等学校と統合され、新生「和歌山北高校」がスタートしました。現在は、北校舎に普通科23学級、西校舎に普通科6学級、スポーツ健康科学科6学級の合わせて35学級が設置され、和歌山県最大の学級数と生徒数を誇る全日制高校であります。

また、本校は「スポーツの北高」と言われる運動、スポーツの伝統校として、和歌山県はもとより全国の高校スポーツを牽引してきた学校でもあります。卒業生には、体操競技の田中三兄弟をはじめ13名のオリンピック選手も輩出しています。毎年、全国高校総体にも大勢の選手が出場し、昨年度のインターハイではフェンシング競技で女子団体で、国体では陸上競技で男子三段跳び及びびレスリング競技でフリースタイル 65 kg級でそれぞれ優勝し、レスリング、水泳、ブレイキン競技において日本代表としてアジア大会や世界大会に出場し、好成績を残しています。2020年度に開催される東京オリンピックにおいても、本校卒業生の出場・活躍が期待されています。

本校の校訓は、「知育・徳育・体育」の三つが相俟って人間形成をはかり「志を大きく育む」とあります。その意をふまえ「主体的に学び自ら鍛える生徒の育成」や「地域社会の中核を担う人材を育成する学校づくり」を教育目標としてこれまでの伝統を引き継ぐとともに、「学力の向上」、「希望進路の実現」、「生活指導の徹底」、「部活動のさらなる飛躍」等を指導目標を掲げ、様々な取り組みを行い、地域の方々からより一層の厚い信頼を得られるよう努めてまいります。なによりも、本校の生徒がそれぞれの目標を持ち、学習にクラブ活動に熱心に取り組み、充実した学校生活をおくれるよう、教職員が一つになって生徒の活動を支援してまいります。

今後とも、未来を拓く和歌山北高校生徒へのご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成31年4月

和歌山県立和歌山北高等学校 校長 雑賀 敏浩